

※ かい答は、《かい答用紙》に書きましょう。

大田さんの学級では、自分たちが作った詩について話し合いをしています。

【長田さんの詩】

いっぽん

イッポン という ことばをつかう
ケンドー とかいう
ものがあるらしい



ぼうをふって あせをながし
わたしの かげでやすむ
ふたりの しょうねんの
はなしごえが きこえてくる

きらきらの こもれびのなか
ふたりがかたる
ケンドーの イッポン とは
どうやら かつこいいものらしい

わたしは こうていの
いっぽん の 木

いっぽん って
ちよつと さみしい ひびきのことば
そう おもっていたけれど

ふたりのしょうねんを みていると
どうやら そうでもないらしい

【大田さんの詩】

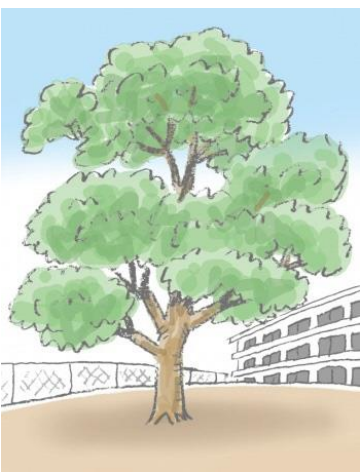
ひみつのステージ

えだのすき間から
日の光が差し
まるで
スポットライトみたい



その光の中で
くるりくるりと
ダンスをおどる
わたしだけのステージ

風がふきぬけ
木の葉が
いっせいに
わたしに向
はく手をおくる



【話し合いの一部】

上村さん まず、二つの詩をくらべて、同じところやちがうところを発表はつびょうしてください。

花本さん どちらも木に目を向けているところが同じだと思います。

大田さん たしかに、木に目を向けているところは同じだと思いますが、わたしの詩は、自分から木を見た詩になっていて、長田さんの詩は（①）から人を見た詩になっているところがちがうと思います。

上村さん では、次に、二つの詩のよいところを発表してください。

山野さん 大田さんの詩の、えだのすき間から差しこむ太陽たいようの光を、（②）に例たとえて表ひょうげんしているところがすてきだと思います。

長田さん 大田さんの詩の最初の四行で頭にうかんだのは、たくさんの木が光りかがやいている、明るい林でした。

中川さん わたしは反対はんたいに、大田さんの詩から、一本の大きな木を想そぞうしました。その木の根元ねもとには立派りっぱな切りかぶがあつて、大きなステージになっているように感じかんしました。

上村さん 大田さんの詩は、たくさんの木と、一本の大きな木のどちらを想そぞうするのか、人によってちがうですね。

花本さん わたしは、長田さんの詩の、「きらきらのこもれび」という言葉ことばがすばらしいと思います。この言葉から、二人が笑顔えがおで、熱心ねっしんに「ケンドー」について語り合っているのが伝つたわってくるようだからです。また、この詩は、「イッポン」「ケンドー」をかたかなで表あらわしていることで、（③）感じかんがしたので、おもしろいなと思いました。

山野さん 「ひみつのステージ」という大田さんの題だいがすてきだなと思います。ステージというと、ふつう、多くの人から見られることをイメージしますが、詩を読んでいくと、（④）という一行を見つけて、「ひみつの」とつけた大田さんの気持きもちちがよく伝わってきました。また、A 様子ようすを、「わたし」に向けたはく手に例たとえていて、その場面ばめんの様子がよく分かります。

一 【話し合いの一部】の中の①に当てはまる言葉を、【長田さんの詩】の中から一文字でさがして書きましよう。

二 【話し合いの一部】の中の②に当てはまる言葉を、【大田さんの詩】の中から七文字でさがして書きましよう。

三 【話し合いの一部】の中の③に当てはまる内ようとして最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

ア 木がそれらの言葉の意味を今までよく知らなかった

イ 木がそれらの言葉をこれまでずっと大切にしてきた

ウ 木がそれらの言葉のもつ音のひびきをいやがっている

エ 木がそれらの言葉を全く聞き取ることができていない

四 【話し合いの一部】の中の④に当てはまる内ようとして最もふさわしいものを、次のアからエまでの中から一つ選んで、その記号を書きましよう。

ア えだのすき間から

イ 日の光が差して

ウ くるりくるりと

エ わたしだけのステージ

五 【話し合いの一部】の中のAに当てはまる内ようを、「風」、「木の葉」という二つの言葉を使って、「様子」につながるように、十字以上、二十字以内で書きましよう。



12

国語おう用力強化シート かい答用紙

番 名前 (

)

一

二

三

四

五

20 10

様子

一 木

二 スポットライト

三 ア

四 エ

五 例1 .. 風がふきぬけ、木の葉がいつせいに動く (様子)

例2 .. 木の葉が風にふかれてゆれる (様子)